

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	ドクタークラーク概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	406
担 当 教 員	ソラスト(外部委託)	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
外来、病棟、医師事務などで活躍できるようになるため、様々な部所に対応できるクラーク業務を学び、クラーク業務の必要性を知る。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 授業内課題 2. 期末テスト 3. 出席・平常点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布プリント						
《授業外における学習方法》						
復習を各自行うこと。また出された課題については、次回の授業前に必ず提出すること。						
《履修に当たっての留意点》						
患者をはじめ、医師、看護師、コメディカルとの連携を迅速に対応することが一番大切です。コミュニケーション能力だけでなく、医学知識を高める意識も持つこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	クラーク業務について学ぶ	教科書	当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	病院でのクラークの立ち位置			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	事務業務について学ぶ	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	病院での事務の立ち位置			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	医師事務クラーク業務について学ぶ	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	医師事務クラークの業務内容、役割			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者の気持ちについて学ぶ	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	患者の気持ちを考える			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	非言語コミュニケーションについて学ぶ	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	非言語のコミュニケーションの種類について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴診器の使用と診察補助を学ぶ	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	聴診器を利用し、聴診する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	血圧計の使用と診察補助を学ぶ	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	血圧計を利用し、測定する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	車いすの使用と安全面と補助技能を学ぶ	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	車いすの使用と介助		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	外来部門の仕事や職種について理解し、説明する	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	外来部門の仕事について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	病棟部門の仕事や職種について理解し、説明する	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	病棟部門の仕事について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅部門の仕事や職種について理解し、説明する	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	在宅部門の仕事について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	外来の診療報酬と処置の方法について繋げて学ぶ	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	実際の処置方法や材料と点数について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	病棟の診療報酬と処置の方法について繋げて学ぶ	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	実際の処置方法や材料と点数について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	各季節に合ったレクリエーションが考案できる	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	クラス内でグループワークを行い、季節に応じたオリジナルレクリエーションを考案する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	本講義内容を把握、説明できる	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	科目内容まとめ		